

令和3年度決算 美濃市立美濃病院経営安定化プラン検証委員会議事録

開催日時：令和4年7月6日（水） 午前9時25分～10時10分

開催場所：防災中央コミュニティーセンター 2階大会議室

出席委員：堀部副市長 瀨瀬総務部長 西部民生部長 井上市長公室長 篠田会計管理者
辻保健センター所長 後藤総務課長 古田福祉子ども課長 林病院事務局長
井川病院事務局管理課長

書記・事務局：春田病院事務局管理課長補佐

1. 開会（事務局長）

2. あいさつ及び進行（副市長）

コロナウイルス関連の国・県補助金により黒字が継続できたことはよかった。（他病院でも補助金により黒字化した事例が見受けられた。）

引き続き、安定経営を堅持するため、皆さんの検証・評価をお願いしたい。

3. 議題

（1）令和3年度美濃病院経営安定化プランの検証・評価

井川管理課長：美濃病院経営安定化プラン検証表及びR3決算書資料にて決算状況を説明。

〈質疑〉

堀部副市長：経営安定化プランにおける最大の問題は？

- ・・・医師の確保です。最大15人いた医師数が7人（短期の派遣医師を除く）まで減少している。

堀部副市長：黒字化が継続できているが、今後の見込みは？

- ・・・医業収支比率が100%を下回っており、コロナ関係の補助金がなくなると厳しい状況。ただし、R4より患者数は若干だが回復傾向にある。

井上市長公室長：看護師の確保はできているか？

- ・・・育休や育短勤務をしている若い職員が多いため、また、コロナ病棟対応のため、夜勤ができる看護師が不足気味な状況です。

後藤総務課長：診療報酬が有利な地域包括ケア病棟への対応は？

- ・・・既に、2・4Fを地域包括ケア病棟として活用している。

西部民生部長：健診受診件数が非常に多いが、国保ドックの受診者数が増えた場合、対応可能か？

- ・・・最近、胃カメラの実施率を増やしたこともあり、対応は可能だと思う。⇒今後、期間の延長などを相談

瀬瀬総務部長：今後の施設改修の予定は？太陽光発電の改修は？

- ・・・現在、空調設備の更新工事を3年に亘り実施している。今後、自家発電設備の対応も予定している。太陽光発電については、補助金等が見込まれる場合、検討する。

(2) その他

井川管理課長：「公立病院経営強化プラン」の策定に向けたガイドラインを令和4年3月に国が公表。働き方改革への対応を含めた医師・看護師不足への対応、新興感染症への対応、デジタル化への対応、他病院等への連携対応など内容が多岐にわたるため、R4・5の2年間でプランを策定する。検証委員会の目標値は、プランが策定できるまでは、現状の目標値を利用する。

4. 検証及び評価のまとめ

- (ア) 令和3年度決算に関しては、コロナウイルスの影響を受け、患者数など多くの指標を達成できなかったが、経営状況については、補助金などの補てんにより黒字化を達成しており評価できる。
- (イ) 経営状況は良好であると認めるが、コロナウイルス関係補助金削減後は、厳しい経営状況が見込まれるため、引き続き一層の経営改善を図りたい。
- (ウ) 常勤医師等の確保については、引き続き努力されたい。
- (エ) 民生部との連携等により、更なる健診受診者の拡大に努められたい。
- (オ) 新型コロナウイルス感染症による機能不全を防ぐため、必要な感染対策を図られたい。